

2024 年 APEC 首脳宣言「マチュピチュ宣言」

1. 我々、アジア太平洋経済協力(APEC)首脳は、2024 年 11 月 16 日にペルー共和国のリマ市に集まった。2024 年 APEC のテーマである「エンパワーメント (Empower)、包摂 (Include)、成長 (Grow)」の下、我々は、全ての人々及び未来の世代の繁栄のために、「アオテアロア行動計画 (APA)」の実施を含め、2040 年までに、開かれた、ダイナミックで、強靱かつ平和なアジア太平洋コミュニティを目指す「APEC プトラジャヤ・ビジョン 2040」の実現に向けた取組を継続する。本年の我々の取組は、ペルーのリマ、アレキパ、ウルバンバ、トルヒーヨ及びプカルパの各都市で実施され、最も喫緊の経済問題に対処しつつ、全ての人々のために機会を最大化し、包摂的な経済成長の恩恵を確実に享受できるようにすることを目指した。
2. 前例のない急激な変化が、引き続き今日の世界を形作っている。このような変化は、APEC エコノミーがそれらのリスクを最小限に抑えつつ、新たな機会を活用できるよう適応していかなければならないという課題を浮き彫りにしている。この観点から、我々は、貿易と投資、気候変動を含む環境、食料・エネルギー安全保障などの分野に影響を及ぼしている重大な変化に留意する。そのため、効果的な多国間協力はますます重要になっている。
3. APEC は、地域経済協力のための主要なフォーラムとして、また、近代的で革新的かつ効果的なアイデアのインキュベーターとして、我々の地域が直面してきた様々な課題に対処する上で具体的かつ実践的な形で貢献してきた。自主的、非拘束的、かつコンセンサス形成という基本原則に基づき、ダイナミックで強靱な対話及び経済協力のためのフォーラムとしての APEC を堅持することは、APEC エコノミーにとって最も重要である。我々は、アジア太平洋地域が世界で最もダイナミックかつ相互連結された地域であり続けることを確保するコミットメントを再確認する。
4. これまでの進展に基づき、本年、我々は、包摂的で持続可能な経済成長アジェンダを推進するにあたって具体的な成果を挙げてきた。この関連で、2024 年の分野別閣僚級会合の議論、並びに女性と経済、女性と貿易、貿易、観光、エネルギー、食料安全保障、保健、中小企業、鉱業、財務大臣会合及び閣僚会合でコンセンサス採択された各声明を歓迎する。また、我々は、「アジア太平洋におけるクリーンかつ低炭素な水素政策の枠組を策定・実施するための APEC 政策ガイダンス」、「アジア太平洋地域における食品ロス・廃棄の防止・削減のためのトルヒーヨ原則」及び「APEC 財務大臣プロセス (FMP) サステナブル・ファイナンス・イニシアティブ」を含む、閣僚級及び高級実務者級のコンセンサスから得られた成果を歓迎する。

5. 我々は、自由で、開かれた、公正で、無差別で、透明性があり、包摂的かつ予見可能な貿易・投資環境を実現する重要性を認識し、その実現のために引き続き取り組む。我々は、世界貿易機関(WTO)を中核とするルールに基づく多角的貿易体制を支持し、WTOの全ての機能の改善に必要な改革の推進に引き続きコミットすることを再確認する。我々は、「第13回WTO閣僚会議(MC13)」の成果の完全な実施に向けて引き続き建設的に取り組む一方で、2024年までに全ての加盟国が利用できる、完全なかつ十分機能する紛争解決制度の実現を視野に入れ、他のWTO加盟国との議論を加速するためのMC13におけるコミットメントを想起する。WTO漁業補助金については、同協定の早期発効及び追加の規律交渉の妥結を支持することを再確認する。我々は、共同声明イニシアティブ(JSI)を含む、WTOにおける多国間並びにプルリ(複数国間)による交渉及び議論が果たす積極的な役割を認識する。
6. 我々は、「サプライチェーン連結性枠組行動計画フェーズ3(SCFAP III)(2022-2026年)」を推進すること、また、安全で、強靱で、持続可能かつ包摂的なサプライチェーンの確立及びそれを支援するための能力構築の奨励を目指し、混乱による悪影響を最小化し、コストを低下させ、貿易・投資を円滑化し、サプライチェーンの連結性を強化するコミットメントを再確認する。我々は、「WTO貿易円滑化協定」の完全実施を加速し、デジタル化、自動化、関連する国際基準の活用を通じた貿易円滑化を促進しつつ、既存のメカニズムを通じた国境機関協力を強化する。単一窓口システムの改善、主要プロセスのデジタル化、異なるペーパーレス貿易システムに関する情報交換、電子認証及び電子船荷証券や電子インボイスなどの貿易関連電子文書の認証を含む国境を越えたペーパーレス貿易の促進によって、貿易の透明性、効率性及び信頼性を向上させることを目指す。
7. 我々は、「APECポトラジャヤ・ビジョン2040」及び「アオテアロア行動計画(APA)」に関する共同行動に沿って、アジア太平洋地域において市場主導型の経済統合を推進するコミットメントを改めて表明し、これを支持する。このような取組を前進させるために、「FTAAPアジェンダの新たな視点に関するイチマ声明」を支持し、その従前の文書を承認することを通じ、新たな地球規模課題、そして刻々と変化するAPECエコノミーのニーズに適応・対応できる地域貿易・投資環境を引き続き促進していく。
8. 我々は、「2024年APEC女性と経済フォーラム(WEF)」及び史上初の「APEC貿易・女性担当大臣合同会合」が実施されたことを認識する。我々は、「女性と包摂的成長のためのラ・セレナ・ロードマップ(2019-2030年)」の完全実施を加速し、アジア太平洋地域におけるジェンダー平等を実現し、女性の経済的エンパワーメントを推進する取組を歓迎する。我々は、多様な背景を持つ女性及び女兒が直面する多重的で不均衡な障壁とジェンダー平等などに対処するための政策、戦略及び構造改革を発展させ実施する重要性を認識する。我々は、科学・技術・工学・数学(STEM)分野やクリエイティブ産

業、貿易、起業など、幅広い経済分野におけるイノベーション及び成長を推進する上で、女性が果たしている重要な貢献を認識する。また、ジェンダーと気候変動に関する協力の重要性に留意する。全ての女性及び女兒に対するジェンダーに基づく暴力及び差別を防止し、対処するためのイニシアティブ及び戦略の発展を積極的に奨励するための追加的方策を探求する。我々は、経済的潜在力を発揮するにあたって構造的な障壁に直面している人々をエンパワーする重要性を認識し、必要に応じて、包摂的な経済成長に対する先住民の貴重な貢献を認識する。

9. 我々は、持続可能かつ包摂的な成長を実現するための構造改革の重要性を認識する。「構造改革のための APEC 促進アジェンダ(EAASR) (2021-2025 年)」へのコミットメントを再確認し、「構造改革のための強化された APEC 促進アジェンダ(SEAASR)(2026-2030 年)」の発展に向けた進展を歓迎する。APEC の経済改革アジェンダを推進するにあたり、我々は 2025 年に韓国で開催される「第 4 回構造改革閣僚会議」に期待する。
10. 我々は、優先課題である「フォーマルかつグローバルな経済への移行を促進するイノベーション及びデジタル化」の一環として、本年共有されたイニシアティブ、議論、グッドプラクティス及び経験を歓迎し、インフォーマル経済の事業者が、フォーマルかつグローバル経済への関与を拡大することによって、APEC エコノミーの包摂的かつ持続可能な経済成長の見通しが改善し得ることを認識する。また、全ての関連事業者をフォーマル経済に組み込むこと、また地域及びグローバル市場へ参画できるようにする重要性を認識する。この関連で、我々は、「フォーマルかつグローバル経済への移行を促進するリマ・ロードマップ(2025-2040 年)」を承認し、2025 年に開始されるその実施に期待する。
11. 我々は、デジタル変革とイノベーションについて、経済成長を押し上げる重要な推進力になる可能性があること、また、ジェンダー間を含むデジタル格差の縮小を促し、中小・零細企業が競争力を高め、より専門的かつ革新的な事業者としてグローバル・バリューチェーンに組み入れられるよう支援し、全ての事業者が経済的利益を確保できるようにすることなど、包摂の実現にも大いに寄与し得ることを認識する。我々は、「APEC インターネット及びデジタル経済に関するロードマップ(AIDER)」の実施などを通じ、APEC 全域にわたってデジタル変革を推進することにコミットし、AIDER がデジタル連結性を強化する上で重要な役割を果たすことを認識する。AIDER に沿って、我々は、プライバシーと個人情報保護の重要性を認識し、デジタル取引における消費者と企業の信頼を強化しつつ、データ流通の促進に協力する。我々は、整備され、開かれた、公正で、無差別で、より安全かつ包摂的なデジタル・エコシステムを支援することにコミットする。この点において、我々は、全ての人がデジタル経済に完全

に参加し、その恩恵を享受できるよう、デジタルインフラの整備、デジタルリテラシー及びデジタルスキルの向上を支援する政策を歓迎する。人工知能(AI)に関しては、イノベーションを推進し、持続可能な経済成長を促進し、エコノミー全域の日常生活において様々な側面を変革する可能性を認識する。2023年の「デジタル月間」や2024年の「デジタル週間」のようなイニシアティブの継続を期待し、また、APEC域内のデジタル格差を縮小する取組を含め、これまでに得られた貢献の価値を認識する。従前の取組を踏まえ、イノベーションと創造性を促進する政策及びプログラムを通じて、知的財産権を促進することにコミットする。我々は、人々の健康を守り、健康への脅威から地域を保護すること、また保健システムの強靱性と持続可能性を高めることを通じて、ユニバーサル・ヘルス・カバレッジ(UHC)の実現を促すためには、デジタル技術の発展及び貢献が重要であることを認識する。

12. 我々は、サービス部門の競争力強化にコミットする。環境関連サービス貿易の円滑化、グリーン・サプライチェーンの連携強化及び更なる循環型経済への移行支援に向けて APEC が行う取組の重要性を認識する。より持続可能な経済モデルへの移行は、APEC エコノミーの経済成長、イノベーション及び競争力を促進する。これに関し、我々は、「バイオ・循環型・グリーン経済に関するバンコク目標」及びアジア太平洋地域における持続可能性目標の推進へのコミットメントを再確認する。また、昨年为首脳らの要望に応じ、貿易・投資政策に包摂性及び持続可能性の観点を組み入れる重要性を再確認する。
13. 我々は、APEC 地域における連結性推進のための取組を歓迎する。我々は、物理的、制度的及び人と人とのつながりを強化し、デジタル連結性を活用することにより、「APEC 連結性ブループリント(2015-2025年)」を実施することに引き続きコミットする。我々は、APEC エコノミーに対し、地域、準地域及び遠隔地の連結性を促進する取組の拡大を奨励する。また、質の高いインフラ開発・投資の重要性を再確認する。我々は、APEC エコノミーに対し、より包摂的な「APEC ビジネス・トラベル・カード(ABTC)」の利用を円滑化及び促進することを奨励し、また、バーチャル ABTC を導入し、受け入れることを歓迎する。
14. 我々は、開かれた、公正で、透明性があり、生産的で、持続可能で、強靱で、革新的かつ包摂的な農業・食料システムを促進することにより、アジア太平洋地域全体の食料安全保障の実現に焦点を当てた APEC の「2030年に向けた食料安全保障ロードマップ」へのコミットメントについて再確認し、農業の持続可能性に対して「万能の解決策」が存在しないことを認識する。また、食料安全保障の実現における、農業生産性、国際貿易、食品ロス及び廃棄物の防止・削減の重要性を再確認し、食料安全保

障と栄養を確保する取組を強化していく。APEC エコノミーに対しては、気候変動を含む環境上の課題に対処し、また、生物多様性の保全及び天然資源の持続可能な利用及び管理を促進するという我々のコミットメントを果たす一方で、全ての人々にとって安全で栄養がある十分な食料の入手可能性及びアクセス確保を模索する取組を引き続き支援することを奨励する。世界の食料安全保障に関しては、漁業が果たす役割を強調し、違法・無報告・無規制(IUU)漁業及び海洋ゴミを取り締まる重要性を認識する。

15. 我々は、持続可能な経済成長と発展を支えるために、エネルギーの安全保障及び強靱性、エネルギーへのアクセスを確保する重要性を認識する。我々は、APEC エコノミーが今世紀半ばまで又はその頃に、温室効果ガス排出の世界的ネット・ゼロ又はカーボン・ニュートラル目標に沿って、多様な道筋を通じ、クリーンで、持続可能で、公平で、低廉かつ包摂的なエネルギー移行を加速するためには、APEC エコノミーによる更なる集中的な取組が必要であることを認識し、また最新の科学的発展と各国の国内事情の相違を考慮する。我々は、2030 年までに、各国事情に応じ、削減・除去技術などを含む他のゼロ・エミッション及び低排出技術に関して同様の目標を示していく一方で、既存の目標や政策を通じて、再生可能エネルギーの発電容量を世界全体で 3 倍にする取組を改めて表明する。また、第一の燃料としての省エネを促進しつつ、APEC エネルギー大臣に対し、カーボン・フリー及びカーボン・ニュートラルな発電源による電力の割合を増加させるという、電力部門の新たな共同の大目標の定義付けに取り組むことを期待する。
16. 我々は、気候変動、異常気象、自然災害の影響による深刻な課題に対処する措置を統合・強化する重要性を認識する。これは、アジア太平洋地域のために持続可能な未来を構築する上で不可欠である。我々は、エネルギー移行技術を考慮すること、及び経済部門への適切な資金調達を促進することの重要性を認識する。この目標の達成に向けた各地域の取組を支援するため、無駄な消費につながる非効率な化石燃料補助金を合理化し、段階的に廃止するコミットメントを想起する。一方、必要とする人々に不可欠なエネルギー・サービスを提供する重要性を認識する。
17. 我々は、腐敗が経済成長及び発展にもたらす深刻な悪影響を認識し、腐敗の防止と撲滅にコミットし、腐敗犯罪者と不正な資産に対する安全な逃避先を拒否する。我々は、本年行われた関連作業を歓迎する。

18. 我々の関係者及びビジネス界は、創造性、ダイナミズム、エネルギーをもたらし、また、我々の活動にとって不可欠なパートナーであり続けている。我々は、APEC ビジネス諮問委員会 (ABAC) や太平洋経済協力会議 (PECC) を含め、また「APEC・CEO サミット」や「持続可能な未来フォーラム」などの行事などを通じて、マルチ・ステークホルダーとのより広範な関係を構築することを期待する。

19. 我々は、韓国 (2025 年)、中国 (2026 年) 及びベトナム (2027 年) の次期 APEC 議長年に期待し、APEC の重要な活動を推進する上で、これらエコノミーに対する支援を約束する。また、2030 年の APEC 議長としてシンガポールも歓迎する。我々は、温かく歓迎してくれたリマ市及び市民、そしてペルーに感謝の意を表す。